

札幌社保協 FAXニュース

2012年 6月26日(火)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

6/28(木)全市
110番相談会
成功させよう!

増税と社会保障改悪法案の衆院採決に抗議する!

国保・介護・後期高齢者医療保険料、住民税の引き上げ 深刻な負担増に対抗し相談活動を強めよう!

札幌社保協と国保・介護・後期高齢者医療110番連絡会では6/20「負担増に対抗する学習決起集会」を開き、44人が参加して相談活動に向けた学習をしました。

佐藤道生連事務局長が各保険料の引き上げ状況と保険料減免・猶予、保険料の分納運動、年金天引きへの対策、一部負担減免の活用について説明しました。

三浦道生連会長は滞納処分とのたたかい、納付資力の考え方、2年経過した保険料は時効になるものを、だますような形で時効中断にさせるやり方へのたたかいなどを報告しました。

東区ケアマネジャー木幡さんは、4月からの介護報酬改定でヘルパーの生活援助時間が削減され、利用者の困難が増えていること、事業所と協力してサービス時間の縮小を抑えること等を説明しました。

「年金が下がっているのに、なんでこんなに保険料が上がるんだ!!」

各地からは、高齢者の間では「年金が下げられているのに介護保険・後期高齢者医療保険料などがあげられるのは納得できない」という声が強くと報告されました。同時に現時点では相談者が必ずしも多くないことから、広く呼びかけようと強調されました。



東区110番



こんなに上がって払えない

東区国保・介護・後期高齢者医療110番では6月22日に区民センターで事前相談会を実施しました。

当日は、11名の方が相談に訪れました。納入通知が届いたが、「国保料が4万円以上あがって払えない」、「介護保険は使っていないのにこんなに高いの?」という方。「後期高齢者医療保険料も高い。介護保険と合わせて年金から天引きされるのは頭にくる。自分で納入できると多少やりくりできるのに」という相談者は区役所の窓口に行きましたが「簡単にはできません」との回答でした。

「年金収入しかなく生命保険や持ち家を整理して生活保護を受けたいと思っている」などの相談がありました。

西区SOS



困って3回も自殺を考えた人も

6月24日(日)に西区民センターで第5回西区SOS相談会が行われ、16人21件の相談がありました。経済的困難の相談が特徴です。家賃や、光熱費の滞納。税金や国民健康保険料が高くて払えない。自己破産や、生活保護の手続きを考えるが、持ち家があったり、病気の家族がいて大変。生活苦で自殺を3回も考えた深刻なケースもありました。74歳女性は、夫が入院中、無年金で貯金わずか、持ち家もあって生保を受けられない、退院させられる不安もあり今後が心配、など深刻な生活状況が浮き彫りになりました。相談会には、炊き出しも含めて42人のボランティアの協力がありました。